



近畿支部会報2016年2月号

今年は年明けから九州に大雪が降ったり、台湾では大きな地震があり、多くの方が被害にあわれました。どうぞ、良き生活を取り戻して頂けるように、お祈りします。

その同じ自然がいつもと変わりなく梅の花をほころばせ、春の喜びを与えてくれている今日この頃です。

近畿支部では、昨年、モンゴル障がい児教育支援に取り組みましたが、モンゴルの障がい児支援をそれに終わらせるのではなく、継続することを決めました。その1つとして、今年は日本モンゴル障がい児交流キャンプをモンゴルで行います。参加者の募集も終わり、航空券も予約して、キャンプ実施に向けて動きだしています。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1、例会報告	和泉市	A.K
2、トラベル報告	ポルトガルの旅	交野市 K.K
3、トラベラー受入れ報告	スペインからのトラベラー	熊取町 M.Y
	With warm regard	Spain M.V
	Thank you very much	Australia H.C
4、会員交流「北から南から」	カウチサーフィンについて	奈良市 K.J
5、お知らせとお願い		支部長

1 例会報告

和泉市 A.K

日時：2016年2月20日（土）12時より14時30分

場所：かごの屋 茨木春日店 参加者:9名

天気が悪く朝から雨が降っていました。2月20日（土）12時よりかごの屋 茨木春日店で例会が会員9名の参加で開かれました。美味しい日替わりランチとコーヒーを頼みました。議題の討議に時間を取り、年末にお孫さんと行かれたニュージーランド（南島）でのトラベラー報告をMさんが予定して下さっていましたが、あまり聞くことが出来なくて残念でした。次の機会にお願いしたいです。



議題

先ず、国内会議 2016 提案議題について話し合われました。

1、モンゴル障がい児支援に関して以下の事を提案することに決まりました。

昨年、主催日本サーバス、担当近畿支部で「モンゴル障がい児教育研修」を行いました。モンゴルの障がい児教育支援をそれに終わらせないために、以下の事を提案します。

1、昨年の取り組みを発展させるため、日本・モンゴル障がい児交流会を立ち上げる。

2、日本サーバスとして日本・モンゴル障がい児交流会に会員登録をする。又、会長はできれば運営委員になる。

3、今年度の事業としてモンゴルにて「日本・モンゴル障がい児交流キャンプ」を行う。そのため、昨年度モンゴル障がい児教育研修に寄せられた支援金の残金を使用する。

日本モンゴル障がい児交流会（案）

目的	モンゴルの障がい児及び障がい者がより良い環境の中で過ごせるように、日本・モンゴルが力を合わせて取り組む
活動	上記の目的が達せられるよう、創意・工夫をこらして、活動する
本部	本部は日本モンゴル障がい児交流会代表宅とする
代表	日本サーバス近畿支部長
運営委員	日本サーバス会長（予定）、日本サーバス近畿支部役員、近畿支部に属するサーバス本部役員他
会計	運営委員より選ぶ
会計監査	同上
会員	今回のモンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方に意向をお聞きしてお願いする。
経費	当面は支援金の残金で運営する。 新たに必要が出てきた時は随時相談する。
会計	会計年度は1月1日に始まり、12月31日に終わる。
会議等	必要に応じて行う ・顧問が必要な場合は、モンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方の中より、本会の運営に指導助言を下さる方に意向をお伺いしてお願いする。

2、サーバス国際会議参加日本サーバスユース部会長の役割について（提案）

昨年日本サーバス国内会議で日本サーバスユース部会長（又は代理）も本部から旅費補助をして、サーバス国際会議に参加することが決められたが、役割については決められていなかったため、役割について決める。そのため、日本サーバス会則 本部役員の職務 第18条 8） ユース部会長はユース部会を代表し、部会の運営及び管理を総括する。を次のように改める。

ユース部会長はユース部会を代表し、部会の運営及び管理を総括し、サーバス国際本部ユース部会や各国ユースとの連絡に当たる。サーバス国際会議に日本サーバス本部から費用補助を受けて参加する場合は、公式な会議に参加し、帰国後報告書を提出する。

以上に伴って、第18条 1） 会長は、本会を代表し、本会の運営及び管理を総括し、国際本部や各国との連絡にあたる。についても、次の文章を追加する。

サーバス国際会議に日本サーバス本部から費用補助を受けて参加する場合、公式な会議に参加し、帰国後報告書を提出する。

3、日本サーバス国内会議議事録について（提案）

議事録の様式及び作成手続きは、国内会議で決められたようにする。

日本サーバス議事録様式

- ・開催年月日時
- ・開催場所
- ・出席者氏名・役職

[挨拶、活動報告、連絡事項等の記録の取り方は、ここでは省略]

・議決を必要とする議題の記録の様式

議題 No. 「 議 題 名 」

提案理由及び説明（提案者）： 議題、提案理由・説明についての質問（もしあれば）：

（ 討 議 ）

賛成意見： [簡条書き] *単なる個人的感想、言葉のやり取りは記録しない。

反対意見： [簡条書き] * 上に同じ

中立的意見（もしあれば）：

採決及びその結果： [賛成〇〇対反対〇〇で可決または否決]

採決の結果に対する要望事項（もしあれば）：

決定事項： [会議中は書記が決定事項を読み上げる。]

・議事進行及び議事録の取り方についての留意点

議事録を取る書記は発言者の内容が記録できないとき、または意味不明のときは、躊躇することなく、発言者、または議長にその内容の確認、説明を求める。

・発言者の内容は一言一句記録するのではなく、その要旨を簡条書きに記録する。

・賛成意見、反対意見をはじめその他質問等について、発言者の個人名は書かないで、所属と役職にとどめる。例えば、発言内容の後ろに（〇〇支部長）、（会長）のように。

・国内会議の内容を録音することはできるが、これはあくまでも補助的なもので、録音内容から後日議事録を起こすことはしない。議事録が完成した後で、発言内容について万一疑義が生じた場合にのみ利用する。

議事録作成手続き

1、開催支部は会議記録者を2名選出し、議事録様式に従った記録を作成して、日本サーバス会長に提出する。

2、会長は提出された議事録を点検後、本部・支部役員に回覧して、訂正、加筆を求める。

3、会長は各役員からの訂正・加筆で議事録を修正し、議事録を完成する。

4、国内会議運営について（提案）、

①討議時間を生み出すため、従来行われていた「本部一般会計および特別会計の決算報告」及び、「各支部活動報告および会計報告」については、参加者は事前に送られた資料に目を通して理解しておく。当日は報告は行わず、質問、補足説明、議決のみ行う。

②国内会議に提出された提案はすべて取り上げる。時間の関係上討議できなかったものについては、どうするかを必ず提示する。

5、サーバス会長、本部会計人事について（報告及び意見）

近畿支部で会長、本部会計候補者を探すことはできなかった。近畿支部には本部役員がいて、支部役員会にも入ってもらって支部運営を行っている。非常に良いので、本部役員は各支部から出す方が全体の運営上望ましい。

次に、支部への寄付依頼について話し合いました。

1月初め、元関東支部長の方からネパール支援の要請があったが、役員会で十分討議する時間がなかったので、支援しなかった。今後寄付依頼があった時は次のようにする。

- 1、依頼者がサーバス会員であること、
- 2、本人所属支部において討議され、支部として取り組むように決定されること、
- 3、以上に基づいて、本人所属支部長名で依頼があること。

2、トラベル報告

ポルトガルの旅 (2015年12月17日～2016年1月5日)

Porto ~ Aveiro ~ Lisbon

交野市 K.K

夏のサーバス旅行の感動が忘れられず、続けてこの冬休みもサーバスで旅をすることにしました。これまで行ったことがない国で、あまり寒くない所と考えポルトガルを選びました。ホストの総数が少ない上に、ホリデーシーズンと重なることもあり、初めはうまくホストが見つかるかとても心配でした。しかし初めにOKの返事をくださったAの親切に助けられ、それが縁でたくさん方からオファーを頂き、最後にはポルトガルに不慣れな私のために旅の計画まで手伝ってもらい、出発までに全ての不安はなくなっていました。

12月27日～29日 Porto (A&F宅)



旅はポルトガル第二の都市、Porto ポルトから始まりました。メールでホストを探していた時に「親戚が泊まりに来るのでホストはできないけど、空港まで迎えに行っておあげるよ。」と申し出てくれたRが空港で私を出迎えてくれました。夜景がきれいなポルトの街を車でドライブしながら案内してくれた後、郊外に住むホストAの家まで送り届けてくれました。

Aは、「この家ではあなたは私の娘だから、お母さんと思って何でも言ってね。」と本当に親切にしてくださり、初めての土地、初めての出会いにもかかわらず、とてもリラックスした気分で過ごすことができました。翌日は世界遺産にも登録されているポルトの歴史地区を散策したり、世界で一番美しいと言われる書店に行ったり、ポルトをたくさん歩き回りました。そして夕方にはAと待ち合わせをして、聖歌を聴きに行きました。美しい教会の中で聴く聖歌隊の歌声はまた格別なものでした。自宅での夕食には息子さんや友人も参加して、にぎやかなものになりました。ポルトの名産「ポートワイン」とポルトガルの名物料理「バカリャウ(干しダラ)」を堪能した後、サーバスの旅にはいつも持参している日本文化を紹介するお土産や、名所や生活様式などを説明する写真を見せながら、文化交流を楽しみました。ご主人のFは英語を話さないのですが、日本の文字や習字にとっても興味を持ったようで、私が彼の名前を筆で和紙に書くと大変喜び何枚も催促するほどでした。3日目はポルトから電車で移動し、Braga ブラガという街を観光した後、2人目のホストMの住むAveiro アヴェイロへ向かいました。

12月29日～1月1日 Aveiro (M宅)

Mはサーバス歴30年のベテラン?で、出発前から私のポルトガル旅行の計画を手伝ってくれた大恩人です。私は彼女の328人目!!のゲストだそうで、これまでゲストの話やトラベラーとしてのサーバス旅行の話など、時間を忘れるほどいろんな話をしてくださりました。旅の4



日目は、14世紀に創立されたヨーロッパで最も古い大学がある、**Coimbra** コインブラを訪れました。中でも300年前に立てられた大学の図書館は本当に豪華で美しく息を呑むほどでした。館内の見学は



時間と人数が制限されており、写真撮影も禁止されているのですが、あまりの美しさに時間ぎりぎりまで見とれ最後の一人になっていた私に同情したのか、スタッフの方が写真撮影を許可してくださいました。しかも私が日本人だと知ると、まるで骨董品のような書物の中から日本について書かれた本を探して見せてくださり、ポルトガル人の親切と人懐こさと垣間見ることができました。5日目は14世紀に建設された修道院で有名な **Batalha** バターリャへ行きました。世界遺産に登録されて

いる建物は荘厳で美しく、見とれるばかりでした。その後、海沿いの漁師町、**Nazare** ナザレにまで足をのびし、名物にもなっているサルディーニャ（イワシの塩焼き）を味わいました。ポルトガル料理と日本料理は、魚と米と野菜をよく食べるという共通点に加えて、味付けにも親しみを感じるものがあり、どこで何を食べてもとても美味しくいただくことができました。その日は大晦日で、深夜12時にはホストの **M** と2人で **Aveiro** の街に繰り出し、カウントダウンの花火を観賞しました。ポルトガルでは年越しに「レーズンを12個食べる」という習わしがあるそうで、年越しそばならぬ「年越しレーズン」で2016年を迎えました。6日目は元旦のため街全体がお休みモード。運河沿いにタイル張りのかわいい建物が並ぶアヴェイロの街を散策した後、**M** の娘さんのお家に遊びに行き、お孫さんたちも交えてゆったりとした時間を過ごしました。それから、ストライプ模様塗られたカラフルなコテージが並ぶ **Costa Nova** コスタ・ノヴァというビーチまでドライブを楽しみました。**M** は9日間という限られたポルトガル滞在中に、私ができるだけたくさん観光できるようにとあれこれ考え、交通ルートや休館日などをチェックしたり、おすすめの料理を教えてくれるなど、本当に至れり尽くせりのもてなしでした。3日間という短い期間でしたが、アヴェイロで **M** のあたたかい優しさに触れ、最後に駅のプラットフォームでお別れをした時は思わず涙がこぼれそうになりました。

1月1日～5日 Lisboa (C宅)



最後の目的地は首都の **Lisboa** リスボン。ホストを見つけるのが難しかったのですが、「忙しくて何もしてあげられないけど、それでもいいならば…」と返事をくれた **C** のお世話になりました。旅の7日目はお天気にも恵まれ、リスボンの街中を散策しました。ポルトガルの冬は小雨が多いのですが、日本よりも暖かく過ごしやすかったです。この日は大学生の娘さん **B** と **C** の友人と一緒に夕食をとった後、今リスボンの若者や観光客に一番人気と言われるクラブに連れて行ってもらい

ました。サーバスの旅行では深夜に街に出ることが稀ですが、ホストも一緒だったので安心してポルトガルのナイトライフをエンジョイすることができました。8日目は市電に乗ってベレン地区へ。大航海時代を記念した発見のモニュメントや、これもまた世界遺産に登録されているジェロニモス修道院を観光しました。9日目はリスボンから電車に乗って **Sintra** シントラにあるレガレイラ宮殿を訪れました。この宮殿は他にないような不思議な庭園が有名で、池やらせん階段のほか洞窟があちこちにあったり、まるで遊園地のように大変面白かったです。この日の晩は、**C** の友人が開催する瞑想と詩の朗読の会にも参加し、旅の最後の特別な思い出となりました。

今回のポルトガル旅行（9泊10日）では3軒のホストにお世話になりました。特にポルト地区周辺ではサーバス会員のつながりが強く、ホストを紹介してもらったり、車で送り迎えをしてもらったり、旅行のアドバイスをもらったりと、いつも以上にサーバスのお世話になった気がします。どのホストも日本に興味津々で、持って行ったお土産や写真などを使って様々な文化や風習について説明すると大変喜んでくださり、いろんな質問をして日本文化への敬意を示してくれました。ポルトガルの人たちは穏やかで控えめな印象ですが、一人で旅をする私のことをとても気にかけて、細やかに気配りしてくださいました。みんなとても親切な上に、ささやかなお土産や、習字や折り紙と言ったちょっとした日本文化の紹介に対しても、「あなたはサーバスのプロね！本当に準備万端だわ！！あなたが来てくれて本当にうれしいのよ。」と、こちらが照れるほど大喜びしてくれました。これもサーバスの旅行だったからこそ、ポルトガル人の優しさや素朴さに触れることができたのだと思います。

初めて出会う異国人の私にこれほどの善意と信頼を示してくれた、素晴らしきサーバス会員の皆様にご場をかりて感謝を述べるとともに、何にもかえがたい貴重な経験の機会を与えてくれるサーバスの組織とその運営にかかわる方々にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。トラベラー・ホスト会員としてこれからもサーバス活動に関わっていきたくと改めて思いました。

3、トラベラー受入れ報告

スペインからのトラベラー

熊取町 M.Y

氏名 M.V.R 国籍 スペイン 性別 女性 期間 平成27年12月3日～5日

平成27年12月3日にスペインから1人の女性が我が家を訪れた。マスクをしているからと事前に聞いていたので駅まで迎えに行ったときすぐにわかった。20キロほどあるリュックサックと5キロほどの小さなリュックサックの2つを担ぎながら改札口にやってきた。マスクをしているのには理由がある。彼女は11月29日に成田に着いたのだが、あくる日の30日に運悪く葛飾区の中川のある橋の上でつまずき転倒し救急車で病院に運ばれた。鼻と口の間を4針縫う怪我であったが骨折していなかったのが幸이었다。



この事故から3日目に我が家を訪れたのである。彼女は持ち前の明るさとユーモアのセンスの良さで私達を楽しませてくれた。大いに語り笑いの絶えない3日間であった。

翌日、近くの病院へ消毒しに行った。4日後には抜糸出来るだろうとのドクターの言葉を聞いて、彼女はすごく安心した様子であった。午後、近くの水間寺へ行った。この寺は744年に建立された歴史ある寺である。途中2回火災に会い、建て替えはされている。親切なお坊さんが本堂の中まで入りませんかと声をかけてくれた。普段見ることのできない行基菩薩像を間近に拝顔でき本当に幸運だった。これもスペインからのトラベラーと一緒にいたから出来た経験であり感謝です。おまけに帰りに直径10センチもある大きな餅を2つ頂いた。夕食は鍋物であったので鍋に餅を入れて美味しくいただきました。

水間寺のあともう一箇所立ち寄った。大森神社というこれも大層古い神社です。寺と神社の違いを理解してくれました。

わずか3日間の短い期間でしたが彼女と会えてパワーをもらい本当に良かったです。サーバスのお陰で心と心の通じ合う異文化交流が出来たことに感謝です。

With warm regard

Spain M V

Dear T It was very nice to meet you and your family. I thank you for all the wonderful hospitality you gave me at your place. Kyoto is a beautiful town that I enjoyed very much. I am also very thankful for taking care of my doctor's needs. I appreciate deeply you coordinating my stay at the Servas hosts homes. So I can feel more at ease while in Japan. I will always remember your kindness for being like a mother to me. I wanted to let you know that I got my stitches removed this afternoon. Mr. and Mrs. K are really nice, and I thank you for arranging my stay here



Thank you very much

Australia H C

Thank you very much for hosting me. It was lovely to have a family, meal together, tea ceremony, card game, wearing Kimono etc. This is a warm hearted family made me feel very welcome. I hope one day you will visit me in Australia.

From my diary

My stay in Kyoto was an experience. My Servas host was T and she and her family welcomed me in. Warm Japanese woman. S (T's sister) met me at the train station and as we walked in the dark to T's house. She pointed out all the things she felt I needed to know, which was way too much for me, having been travelling all day. I was warmly greeted and served dinner. We followed the meal with the Japanese tea ceremony and a very amusing game of cards. That night was very cold. The next day T took me on an early morning walk (6.30am) to the top of Fushimi Imari-taisha the head Japanese Shinto shrine. Shintoism is an ancient religion and still practiced, followers believe that 'spirits' live in natural places such as animals, plants, stones, mountains and rivers, all of nature is worshipped as Gods. Foxes and lions stand as guardians at the entrance of every part of the shrine. It was quite something as Tomoko told me when to clap and blow and make a wish and how to wash my hands and drink the sacred water. We walked kilometres through red painted colonnades, like huge gateways, to top of the mountain and at every turn there were little shrines with all sorts sacred meanings.



After breakfast Tomoko sent me off sight seeing, after explaining in great detail different bus and train routes to get to Kinkaku-ji, a golden temple, and Arashiyama. It was very crowded with Chinese tourists spoiling the experience of the beautiful temple and garden somewhat. Then I wandered down the road and came across another temple, Ninna-ji, not famous in the eyes of the Chinese or others as it was almost deserted. It has grand yet intimate at the same time. The room partitions depicted many sense of plants, rocks, the crashing waves, animals and birds with liveliness and sensitivity. The wooden verandah planks around the building were exceptionally wide and often with intricate fiddle in the grain, they must have come from very old grand trees. The entrance to this temple was huge, and was set such that mountains behind on either side created a feeling of great space. It was hard to imagine I was in the huge city of Kyoto.

4、会員交流—北から南から—

カウチサーフィンについて

奈良市 K.J

最近はやりのカウチサーフィンについて少し書いてみます。サーバスとの違いは会員制ではなく、どんな人も自由に泊まったり泊めたり出来るということです。会費もありません。そうするとどんな人がくるかどうか不安ですが、まずプロフィールを見てそれからその人の泊まった後に書かれるホストによる評価を見ると大体のことがわかります。私は今までフランス人を中心にいろんな人を泊めましたが、大抵高学歴でいい人たちです。サーバスに比べると年齢が非常に若く、20代から30代半ばまでがほとんどです。カウチの名の通り只長椅子の寝るところさえあればいいというのが原則で、寝袋を持っていく人が多いです。ただ寝るところを提供するだけで充分で、それ以上のサービスは全く自由です。それ故、泊まりに来るゲストは、経済的に節約したいという人が多いし、一日の予算もかなり低い予定をしているひとが多く、サーバスに慣れたホストには少し違和感があるかもしれません。反対に、こちらが泊めて貰う場合も、豪華な宿泊や食事のサービスは期待出来ませんし、彼らの家まで自分自身で行かなくてはならないでしょう。でも話をすると大変楽しい人が多いです。泊めると後で泊まったゲストは感想を書きます。でするのでどのような扱いをするかは考えておかなければなりません。私自身は一部屋を提供し朝食を出しますし、たまには夕食も出します。時間のある時には観光も付き合います。すると思いがけない歓待を受けたように非常に喜んでくれます。ただ心しておかないといけないのは、彼らは非常に低い予算で旅行している人がほとんどで、そのへんはサーバスとはかなり違うことを覚悟する必要があります。また申し込みも5日ぐらい前に言ってくるので、かなり急な対応が必要です。全体的にはいい人たちですが、中にはただの宿泊だけを期待して、あまり日本の家庭に興味あるわけでもない人もいます。どんな人が泊まりに来るかわからないと言って、余り警戒する必要はないようです。楽しい歓談をすることが出来ます。

5、お知らせとお願い

支部長

* 次の例会は2016年6月26日(日)午後1時30分より、モンゴルキャンプ参加者激励会を兼ねて、大阪長居障がい者スポーツセンターで行います。詳しいご案内は後ほどしますので、よろしくご予定下さい。

* 2016年度サーバス年会費(一般3000円 学生2000円 休会者B1500円)をまだお支払い頂いていない方は、次の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部

以上